

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月10日

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C
横断的な課題	交通軸の整備による人と物の移動を活かした郷土づくり				
地域重点政策	中山間地域の魅力向上				松本地域振興局
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属 松本地域振興局企画振興課
事業名	信州まつもと広域圏まるごと移住支援事業			電話	8-239-2315
				E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	松本地域の広域的な移住促進に向けて、各市村の取り組みや移住体験談等をまとめて紹介することにより、東京圏在住者を中心に松本地域の魅力を伝え、移住・定住促進につなげるもの。			
	現状と課題	【現状】 少子高齢化により人口減少が急速に進行している中、東京圏への一極集中の傾向が継続し、若年層を中心に地方から東京圏へ人口が流出していることなどの理由から、地方人口が減少している。 松本地域振興局では、移住・定住促進のため、R元年度から以下の事業を実施 R元 松本広域圏3市5村が参加する「移住促進対策検討会議」の立ち上げ R2 まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの作成(5,000部作成 4,700部配布済み) 移住相談会及び移住体験ツアーを企画したがコロナ禍で中止 【課題】 移住希望者に対して、R2年度の計画に引き続き、松本広域圏(各市村)の魅力をPRする必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	松本地域の広域的な移住促進対策を支援するため、以下の事業を実施する。 1 信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの増刷 5,000部(市村連絡先や写真の差し替えなど、軽微な内容の修正に対する費用計上) 2 暮らす・働く信州まつもと広域圏まるごと移住相談会(オンライン)の開催 (1) 日時 令和3年9月11日(土)13時～15時30分 (2) 内容 ・移住体験談セミナー、グループトークによる相談会を3市5村と連携して開催 (コロナ感染拡大予防の観点から東京開催をオンライン開催に変更) ・相談会講師(移住体験談2名、グループトークへの各市村ゲスト参加者8名を予定) 3 信州まつもと広域圏まるごと移住体験ツアー(オンライン)の開催 (1) 日時 令和3年11月27日(日) 13時～15時30分予定 (2) 内容 ・「創業・子育て・就農」をテーマとしたオンラインツアーを3市5村と連携して開催 (コロナ感染拡大予防の観点から現地開催をオンライン開催に変更) ・ゲストを招聘(スタジオゲスト 2名、各市村の紹介の際のゲスト参加者8名を予定)			
	事業期間	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	ガイドブックの増刷	ガイドブックの増刷	420,750		
	移住相談会の開催	3市5村合同のオンライン移住相談会の開催	80,450		
	体験ツアーの開催	3市5村合同のオンライン体験ツアーの開催	511,286		
	合計	1,012,486			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの配布部数		4,000	4,400	● 達成
	信州まつもと広域圏まるごと移住相談会の参加者アンケート満足度		70%	89%	○ 一部達成
	信州まつもと広域圏まるごと移住体験ツアーの参加者アンケート満足度		70%	84%	○ 未達成
事業実績・成果	・信州まつもと広域圏まるごと移住相談会 申込者 26名(上限) 当日参加者 17名 オンライン開催のため、人数は少なめながら、先輩移住者の講話やグループトークによる相談受付を行い、まつもと広域圏への興味を持ってもらうことができた。 ・信州まつもと広域圏まるごと移住体験オンラインツアー 申込者数 38名 当日参加者 29名 各市村の特色をテーマ毎に紹介し、開催後のデータをYoutubeで公開することで、当日参加者に加えてWEB閲覧者に松本広域圏の魅力を情報発信することができた。(Youtube閲覧者数 140名 R4.2.25現在) ・信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの印刷 5,000部 管内3市5村へ各500部頒布(合計4,000部)、銀座NAGANO移住・交流センター、ふるさと回帰支援センター、名古屋移住・交流サポートデスク及び大阪移住・交流サポートデスクへ各100部頒布(合計400部)				
今後の方向性	より関係市村が求める移住者に沿った企画を行い、各市村の移住促進に繋げていく。 (開催は現地開催、オンライン双方で検討)				